

■内は主な対象者

任継=任意継続被保険者

特退=特例退職被保険者

社員=大和証券グループ各社勤務の被保険者

(家)は被扶養者の方も含む場合

平成28年度決算について

大和証券グループ健康保険組合の平成28年度決算と事業報告が7月13日に開催された第202回組合会において可決、承認されました。

健康保険

平成28年度の経常収入は、保険料率の下げ、報酬減等により前年度比1,526百万円減少し、8,839百万円となりました。一方、経常支出は、保険給付費は横ばいであったものの、納付金が前年度比450百万円の増加となったのに加え、保健事業費が113百万円増加したため、合計で514百万円増加の9,273百万円となりました。その結果、経常収支は、433百万円の赤字となりました。

皆さまの健康づくりを支援する健診等の保健事業は、平成27年度からスタートしたデータヘルス計画に基づき計画通り実施しました。

今後は「健康経営」を実践する事業主とのコラボ事業も進めてまいりますので、会社や総合健康開発センター、健康保険組合等から、健診・人間ドック、イエローペーパー、特定保健指導のご案内等を受領しましたら、積極的なご対応をお願いいたします。

介護保険

介護保険は、保険料率の下げ等により216百万円の減収となりましたが、収支は24百万円のプラスとなりました。既にお知らせしました通り、介護保険制度の変更が国会で承認されたことから、平成30年度には介護保険料率の引き上げが必要になる見通しです。

【健康保険決算の内訳】

